## 情報セキュリティサービス審査登録制度の概要

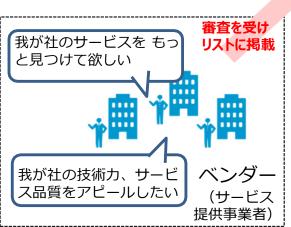
- 情報セキュリティサービス業の普及を促進し、国民が情報セキュリティサービスを安心して活用することができる環境を醸成 **することを目的**に、「情報セキュリティサービス基準」(2018年2月初版、2024年4月第4版改訂)及び、「情報セキュ **リティサービスに関する審査登録機関基準**|(2018年2月初版、2022年3月第2版改訂)を策定。
- これらの基準を踏まえ、登録申請のあったサービスが情報セキュリティサービス基準を満たすかを**審査登録機関が審査の上、** IPAが「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に掲載・公表。
- 2024年4月、事業者からの要望等を踏まえ、「ペネトレーションテスト(侵入試験)サービス」を既存区分のオプションサー ビスとして追加した「情報セキュリティサービス基準第4版」を施行。(同オプションの審査は2024年9月より開始予定)
- 同サービスは、政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群での位置付け等を踏まえ、既存区分である「脆 弱性診断サービス」のオプションサービスとして位置付け。

## <情報セキュリティサービスにおける課題> ○情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト(IPA)

審査登録機関による審査で基準を満たすと認められたサービスをリス トとして公開

本制度を通じて目指す社会







## 基準を満たした300サービスを掲載(2023年12月)

- 情報セキュリティ監査サービス
- 脆弱性診断サービス
- デジタルフォレンジックサービス
- セキュリティ監視・運用サービス
- 機器検証サービス

選定時

ペネトレーションテスト(侵入試験)サービス (2024年4月追加)



○情報セキュリティサービス基準 (経済産業省)

> 上記6サービスに関して 技術要件・品質管理要件を 定めた基準

専門知識を持たないユーザで も、自社に最適かつ品質を備 えたサービスを選択できる

技術と品質を備えた情報セ キュリティサービスの普及・ 発展

制度の普及・浸透